

(様式例第11)

令和 7 年 10 月 3 日

石川県知事 殿

石川県七尾市富岡町94番地  
申請者  
病院長 鎌田 徹



恵寿総合病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和 6 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
氏名	社会医療法人財団董仙会

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

恵寿総合病院
--------

3 所在の場所

〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地	電話(0767)52-3211
----------------------------	-----------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	386床	386床

## 5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備)人工呼吸器、除細動器、呼吸循環監視装置、経皮的動脈血酸素飽和濃度測定器、血液凝固測定器、心電計、輸液ポンプ、大動脈バルーンポンプ装置、体外式ペースメーカー、血液浄化装置、超音波装置、血液用冷蔵庫、ポータブルX線装置他 病床数 HCU 8 床
化学検査室	(主な設備)生化学測定器、純水装置、免疫測定器、凝固検査用測定器、血球計数測定装置、血液像作成装置、HbA1C測定器、輸血検査システム、各種遠心機、組織固定振とう器、顕微鏡、精子特性分析器、血糖持続測定器など
細菌検査室	(主な設備)血液培養自動分析装置、微生物感受性分析装置、リアルタイム濁度測定装置、バイオハザード対応キャビネット、デジタル秤、テーブルトップ遠心機、薬品庫
病理検査室	(主な設備)冷凍組織切片作成装置、遠心機、スライドウォーマー、パラフィン融解器、卓上ドラフトチャンバー、冷蔵庫、滑走式マイクローム
病理解剖室	(主な設備)解剖台、解剖セット、顕微鏡デジタルカメラ
研究室	(主な設備)eラーニングシステム、インターネット環境、各種シミュレーター、統計分析ソフト、顕微鏡など
講義室	室数 2 室 収容定員 300 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 1,700 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備)心電図モニター、酸素ボンベ、除細動器など 保有台数 2 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 10.34 m <sup>2</sup>

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12)他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	93.4%	算定期間	令和 6年 4月 1日～ 令和 7年 3月 31日
地域医療支援病院逆紹介率	105.7%		
算出根拠	A: 紹介患者の数		6,181人
	B: 初診患者の数		6,615人
	C: 逆紹介患者の数		6,989人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

救急センター配属医師・看護師  
夜間及び休日の日当直に従事する医師・看護師・診療放射線技師・臨床検査技師・薬剤師・  
救急救命士の全職員

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	19床
専用病床	8床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急センター	313.61㎡	(主な設備)初療室、診察室、救急観察室、 当直室等	可
放射線検査	466.78㎡	(主な設備)一般撮影全般、CT、MRI、血管 撮影、当直室等	可
生理機能検査室	158.25㎡	(主な設備)心電図、超音波等	可
臨床検査室	125.27㎡	(主な設備)生体検査全般	可
中央採血室	51.86㎡	(主な設備)血液検査	可
HCU	272.86㎡	(主な設備)病室、スタッフステーション、控 室等	可
ハートセンター	1015.90㎡	(主な設備)病室、スタッフステーション、心リ ハ室等	可
手術室	632.48㎡	(主な設備)手術室5室、中央材料室等	可
内視鏡室	300.03㎡	(主な設備)内視鏡室4室、リハビリ室、X 線TV室等	可

#### 4 備考

石川県救急指定病院

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

#### 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	1,809人 (1,079人)
上記以外の救急患者の数	7,081人 (3,387人)
合計	8,890人 (4,466人)

(注)それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

#### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----



田村眼科クリニック	田村 敏博	羽咋市鶴多町	眼科	無し
ひきしまクリニック	疋島 寛	羽咋市旭町	内科	無し
岩脇医院	岩脇 淳一	羽咋市的場町	耳鼻科	無し
保志場内科クリニック	保志場 毅一	羽咋市的場町	内科	無し
松江クリニック	松江 悠紀子	羽咋市松ヶ下町	消化器科	無し
羽咋診療所	横山 隆	羽咋市柳橋町	内科	無し
平場内科クリニック	平場 吉治	羽咋市中央町	内科	無し
いけの整形外科	池野 晋	羽咋市南中央町	整形外科	無し
加藤クリニック	加藤 義博 加藤 理良	羽咋郡志賀町	内科	無し
河崎医院	笠原 久美子	羽咋郡志賀町	内科	無し
志賀クリニック	藤井 邦裕	羽咋郡志賀町	内科	無し
池野整形外科・耳鼻咽喉科	池野 敬	羽咋郡志賀町	整形外科	無し
四蔵医院	四蔵 直人	羽咋郡志賀町	内科	無し
ひよりクリニック	平川 知之	羽咋郡志賀町	循環器科	無し
町立富来病院	竹村 健一	羽咋郡志賀町	内科など	無し
向クリニック	山田 勝彦	羽咋郡志賀町	小児科	無し
岡田医院	岡田 真人	羽咋郡志賀町	内科	無し
前川医院	前川 馨	羽咋市酒井町	内科	無し
公立羽咋病院	五十嵐 厚	羽咋市的場町	内科、外科など	無し
国下整形外科医院	国下 正英	七尾市大和町	整形外科	無し
岡部内科クリニック	岡部 源一	七尾市本府中町	内科	無し
七尾松原病院	飛弾 賢一	七尾市本府中町	精神科	無し
うおぎし医院	魚岸 誠	七尾市藤野町	胃腸科	無し

やまもと眼科クリニック	山本 ひろみ	七尾市藤野町	眼科	無し
えんやま健康クリニック	円山 泰史	七尾市千野町	内科	無し
円山医院	円山 寛人	七尾市府中町	循環器内科	無し
三林内科胃腸科医院	三林 裕	七尾市府中町	胃腸科	無し
荒井皮ふ科クリニック	荒井 美奈子	七尾市新明町	皮膚科	無し
中村ペインクリニック	中村 耕一郎	七尾市新明町	麻酔科	無し
さはらファミリークリニック	佐原 博之	七尾市石崎町	内科	無し
浜岡整形外科クリニック	濱岡 寛士	七尾市石崎町	整形外科	無し
能登島診療所	山下 朗	七尾市能登島向田町	内科	無し
清水眼科医院	清水 了	七尾市米町	眼科	無し
横山内科医院	横山 将嘉	七尾市御祓町	内科	無し
北村病院	北村 勝	七尾市御祓町	循環器内科	無し
山田産婦人科医院	山田 武法	七尾市御祓町	産婦人科	無し
田中内科クリニック	田中 文夫	七尾市藤橋町	内科	無し
八野田整形外科医院	八野田 純	七尾市藤橋町	整形外科	無し
桑原母と子クリニック	桑原 崇	七尾市国分町	産婦人科	無し
森クリニック	森 善裕	七尾市国分町	胃腸科	無し
おくむら内科胃腸科医院	奥村 義治	七尾市下町	胃腸科	無し
浜野クリニック	飛田 研二	七尾市小島町	内科	無し
浜野介護医療院	時国 信弘	七尾市津向町	内科	無し
国立病院機構七尾病院	安井 正英	七尾市松百町	内科など	無し
公立能登総合病院	上木 修	七尾市藤橋町	内科、外科など	無し
ねがみみらいクリニック	根上 昌子	七尾市万行町	内科	無し

ふき眼科クリニック	清水 ふき	七尾市国分町	眼科	無し
松沼医院	松沼 恭一	羽咋郡宝達志水町	内科	無し
藤田医院	藤田 晋宏	羽咋市大町	内科	無し
安田医院	安田 紀久雄	鹿島郡中能登町	内科	無し
なかお内科医院	中尾 義広	鹿島郡中能登町	内科	無し
かじ内科クリニック	鍛治 武和	鹿島郡中能登町	内科	無し
村田医院	村田 佐民	七尾市中島町	眼科	無し
辻口医院	辻口 大	七尾市中島町	内科	無し
宙メンタルクリニック	西村 正史	七尾市新明町	精神科	無し
山崎耳鼻咽喉科クリニック	山崎 芳文	七尾市古府町	耳鼻咽喉科	無し

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	10床
--------------	-----

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

日時	講演会名	人数	当院医師
2024年4月25日	がん診療連携カンファレンス	55	山崎医師
2024年6月6日	がん診療連携カンファレンス	60	山崎医師
2024年6月13日	救急事例検討会	57	新井医師
2024年6月19日	能登脳卒中地域連携セミナー	58	川北医師
2024年6月27日	医療連携のつどい	80	-
2024年8月21日	能登脳卒中地域連携セミナー 生活期	32	川北医師
2024年8月22日	がん診療連携カンファレンス	58	山崎医師
2024年9月4日	摂食嚥下栄養研究会	32	川北医師
2024年10月24日	がん診療連携カンファレンス	56	山崎医師
2024年12月11日	能登脳卒中地域連携セミナー 症例検討会	88	川北医師
2024年12月12日	がん診療連携カンファレンス	49	山崎医師
2024年12月14日	市民公開講座(羽咋市)	100	-
2024年12月17日	第7回 ケアマネ事業所交流会	32	-
2025年1月25日	市民公開講座(七尾市)	150	-
2025年2月20日	がん診療連携カンファレンス	58	山崎医師

2 研修の実績

(1)地域の医療従事者への実施回数	15回
(2)(1)の合計研修者数	965人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 無  
 イ 研修委員会設置の有無 有 無  
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
鎌田 徹	医師	乳腺外科	病院長	40年	■教育責任者
岡田 由恵	医師	脳神経外科	副病院長	33年	
川北 慎一郎	医師	リハビリテーション科	副病院長	44年	
山崎 雅英	医師	血液内科	副病院長	36年	
新井 隆成	医師	産婦人科	科長	31年	

吉岡 哲也	医師	家庭医療科	科長	27年	
宮本 正治	医師	内分泌代謝内科	顧問	52年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
5病棟2階講堂	169.05㎡	(主な設備)PC、プロジェクター、音響設備
Keiju Innovation Hub	354.7㎡	(主な設備)PC、プロジェクター、音響設備、各種シミュレーター
本館1階多目的ホール	50.4㎡	(主な設備)PC、プロジェクター、音響設備
	㎡	(主な設備)
	㎡	(主な設備)

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	鎌田 徹(病院長)
管理担当者氏名	森下 毅(事務部長)

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		データセンター 電子カルテ上	・年度別 ・患者ID別
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携課	・月別、医療機関別
	救急医療の提供の実績	医事課	・月別
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	管理課 地域連携課	・開催日別
	閲覧実績	診療情報管理室	・月別
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携課	・月別 ・医療機関別 ・診療科別

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	鎌田 徹(病院長)
閲覧担当者氏名	森下 毅(事務部長)
閲覧の求めに応じる場所	診療情報管理室、地域連携課
閲覧の手続の概要 ・患者に同意をいただく ・閲覧希望施設より同意書を送付 ・患者登録  書面による閲覧申請	

前年度の総閲覧件数		290件
閱 覧 者 別	医師	290件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>第1回 令和6年6月21日(金) 19時～20時 【出席者】七尾市医師会会長、七尾市医師会代表、七尾鹿島消防本部消防長、石川県能登中部保健福祉センター所長、七尾市社会福祉協議会会長、金沢星稜大学教授、地域住民代表、病院長、事務部長、診療部長、 【議題】①新委員の就任について ②地域医療連携の現況報告、③講演会、研修会の開催状況、④新型コロナウイルス感染状況 ⑤その他:「とどくすり・あと払い」「胸部写真のAI補助診断」「救急搬送サービス」「けいじゅ地域向け講座ライブラリー」「電子処方箋」「ユマニチュード」「令和6年能登半島地震でのエコノミークラス症候群の発生状況」「医療連携の集い開催」について</p>	
<p>第2回 令和6年9月27日(金) 19時～20時 【出席者】七尾市医師会副会長、七尾鹿島消防本部消防長、石川県能登中部保健福祉センター所長、七尾市社会福祉協議会会長、金沢星稜大学教授、地域住民代表 病院長、診療部長、事務部長、 【議題】①地域医療連携の現況報告、②講演会、研修会の開催状況、③新型コロナウイルス感染症の対応、④その他:「救急搬送サービスの紹介」「けいじゅフェスティバル開催報告」「MCIスクリーニング検査プラス」について</p>	
<p>第3回 令和6年12月20日(金) 19時～19時40分 【出席者】七尾市医師会会長、七尾市医師会副会長、石川県能登中部保健福祉センター所長、七尾鹿島消防本部消防長、病院長、診療部長、事務部長、看護部長 【議題】①地域医療連携の現況報告、②講演会、研修会の開催状況、③新型コロナウイルス感染症の対応 ④その他:「救急搬送サービス」「市民公開講座のご案内」について</p>	
<p>第4回 令和7年3月21日(金) 19時～19時40分 【出席者】七尾市医師会会長、七尾市医師会副会長、石川県能登中部保健福祉センター所長、金沢星稜大学教授、地域住民代表、病院長、診療部長、事務部長、看護部長 【議題】①地域医療連携の現況報告、②講演会、研修会の開催状況、③新型コロナウイルス感染症の対応 ④その他:「診療体制の変更」「異動医師のお知らせ」「市民公開講座の開催報告」について</p>	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他(病棟説明室)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師、社会福祉士 その他相談内容に応じて各種専門職が対応
患者相談件数	14,484件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none"><li>・経済的(医療費・生活費等)相談</li><li>・退院後の療養生活について、また施設入所・転院等退院後の療養先について相談</li><li>・治療や療養に関する不安等についての相談</li><li>・在宅医療、在宅ケア、福祉サービス等の利用についての相談</li><li>・退院後の受診先や受診手段の相談</li><li>・介護保険や社会資源、各種制度についての紹介、手続きの支援</li><li>・セカンドオピニオンの相談</li><li>・医療安全に対するご意見や相談</li></ul>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人 日本医療機能評価機構、令和5年2月9日～10日 (6回目) 日本教育財団 外国人患者受入れ医療機関認証 令和3年12月1日～2日 (3回目) 日本輸血・細胞治療学会 輸血機能評価認定制度(I&A) 令和5年1月21日	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 当院ホームページ、「Keiju Monthly Letter」(毎月)、広報誌「恵寿」(年4回)、 年報「業績集」(年1回)、恵寿総合病院医学雑誌(年1回)、冊子「恵寿まるわかりブック」の 発行、SNS発信等により、当院の役割や取組みに関する情報を地域に発信している。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 入退院管理センター(医療福祉相談課、地域連携課、入院支援看護師)や看護部を中心に、看護師や社会福祉士等が入院時より(必要な方には入院前より)患者との関わりを持ち、療養の相談に対応し、転院・在宅療養・施設入居等への退院調整を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 能登脳卒中クリニカルパス:各医療福祉施設の連携を密にした地域ネットワークを構築し、 診療計画に沿って、標準化され効率的で質の高い医療を行う。  ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 能登脳卒中地域連携協議会(参加施設112)による啓発活動(症例検討会や講演会等)。 集約・分析したデータをフィードバックし、脳卒中の医療福祉の質向上に寄与する。	